

安来節踊り上達のコツ

1 曲とストーリーを覚えよう！

シーン1：どじょすくいの基本形（ドジョウを探す。見つける。腕まくり、脛まくり、ざるを差し込み掬い取る。ざるからゴミを捨てる。ざるからドジョウをショケに移す。嬉しそうな顔を見せる。）

シーン2：基本形に加え、ざるからドジョウをショケに移す際にドジョウが逃げる。慌ててドジョウを追う。見失う。と足裏にニヨロリとドジョウを感じる。見つけたぞっ！足元を探る。捕まえた。跳ねるドジョウをショケに入れる。ショケを覗き込み「ヤッター」と嬉しそうな顔。意気揚々と再びざるを押す。

シーン3：ざるを押していると右脛に違和感（痛痒い）を感じる。左足でそこを搔く。変なものを感じる。何だろうと振り向いて足を見るとヒルがくっついている。慌ててざるを放り投げて両手でつかみ取る。掴み取ったヒルを投げ捨てるが、ヒルが離れない。手を振り払ってヒルをもぎ取り放り投げる。ざるで煽って前方に逃がす。ヒルが嘔みついた右足から血が流れる。水を掬ってそこを洗う。最後に唾をつけて完了。ニターッと笑い手を振りながら退場する。

2 動作にめりはりを持たせる！

可笑しいところは笑わずに、むしろ大真面目にやる。

観客に向けて「にっ」と笑い、その直後に急に大真面目な顔に戻って動作を続ける。

歩くのが難しいが、いきなり腰を落として歩くのではなく、普段の歩きに前後の腰を動かさず動作を加え徐々に腰を落としていくと意外に簡単に出来る。

3 曲に合わせるのは難しい！

歩きの動作から本番に移る際は歌い始めに合せると良い。本番のシーンは各自で時間を考慮しながら勘と経験を養うほかない。それぞれ持ち味を生かして所作を振付ける。

各場面の担当を決めて複数で踊るのが良い。全体で踊ると不揃いになり見苦しい。

4 表情を個性あるものにしよう！

各自の持ち味が出せるように表情を研究しよう。鏡に向かって得意な表情を創ろう。また、同じコスチュームでなく個性を出すのも良い。メイクアップを施して個性ある表情を出そう。